

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

但馬地域公共交通計画の評価等結果（2023年度）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
地域住民の公共交通の満足度 【2020年】 13.8% 【2026年】 14.4% 【2031年】 15.0%	以下の全ての取り組み	「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査	【達成状況】 ・13.0%《2023年度》 【分析】 ・2023年度は前年度より向上。	・路線の再編やデマンド型交通の導入のみならず、低床化車両の導入やパーク&ライド駐車場等のハード整備も含め、利用者の利便性を向上させ、満足度向上に繋げる。 ・運転士不足問題（2024年問題）に伴い、減便等があるため、限られた人材・輸送資源の中で、上記の他どのように満足度向上につなげられかが課題。	・2022年度11.3%
路線バス・コミュニティバスの住民1人あたりの年間利用回数 【2019年度】 9.25回/年 【2026年度】 現状維持 【2031年度】 現状維持		市町、交通事業者所有データ	【達成状況】 ・9.21回/年《2023年度》 【分析】 ・2023年度はコロナ禍の5類移行と共に前年度より向上。	・2024年度は引き続き、公共交通利用者への助成事業や利用促進イベントの実施、セミナーやワークショップによる公共交通利用意識の醸成等を通して利用者数の増を図る。	・2022年度8.85回/年
市町をまたぐ新たなバス路線数 【2021年】 - 【2026年】 2本 【2031年】 3本	基本施策1 地域路線の再編 基本施策2 地域の実情に合わせた交通手段の導入 基本施策3 新たな運営方法を用いた公共交通の導入	計画策定以降に新たに運行する市町をまたぐバス運行の路線本数	【達成状況】 ・なし（検討・調整段階）《2023年度》	・2021年度に実証運行を実施。 ・2024年度は引き続き、本格運行に向けて利用可能性の検討・関係者調整を行う。	
公共交通空白地の割合（人口・面積） 【2015年】（人口）4%（面積）23% 【2026年】（人口）3%（面積）21% 【2031年】（人口）3%（面積）20%		バス路線情報、国土数値情報	【達成状況】 ・変更なし（（人口）4%（面積）23%）《2023年度》	・2024年度は引き続き、自家用有償旅客運送に対する支援等により公共交通空白地の減少を図る。 ・福祉や教育分野等の他分野との連携による移動手段の確保に向けて検討を進める。	
路線バス・コミュニティバスのノンステップバス導入率（ワンステップバス等を含む導入率） 【2021年】 31%（80%） 【2026年】 36%（85%） 【2031年】 40%（90%）	基本施策4 公共交通を安全・安心して利用できる環境の整備 基本施策5 交通結節点における利便性の向上 基本施策6 公共交通の利便性の向上	市町、交通事業者所有データ	【達成状況】 ・38%（82%）《2023年度》 【分析】 ・ノンステップバス導入率は中間目標を達成。着実に進んでおり、このまま推移すれば目標値達成可能。	・引き続き、低床化車両の導入を進める。	
コミュニティバスの標準的なバス情報フォーマット（GTFS-JP）の整備市町数 【2021年】 3市町 【2026年】 5市町 【2031年】 5市町		オープンデータとして公開している市町数	【達成状況】 ・5市町で整備されている《2023年度》 【分析】 ・2022年度に全市町において、GTFS-JPを整備、公表した。目標達成済み。	・2024年度は引き続き、ダイヤ改正等にあわせてデータの更新を実施する。	
高速バス・長距離バスの路線数・運行本数 【2021年】 5路線 30本 【2026年】 5路線 30本 【2031年】 6路線 36本	基本施策7 広域的な公共交通ネットワークの充実 基本施策8 観光交通としての利便性向上	バス路線情報	【達成状況】 ・3路線 14本《2023年度末時点》 【分析】 ・運転士不足等の影響により、一部路線の運休が発生。	・高規格道路の整備状況や運転士不足の状況などを考慮し、今後の運行について検討する。	
高速バスストップの整備箇所数 【2021年】 2箇所 【2026年】 3箇所 【2031年】 8箇所		バス路線情報	【達成状況】 ・変更なし（2箇所）《2023年度》	・高規格道路の整備に合わせて設置を検討中。 ・2024年度はIC付近におけるバスターミナル及びパーク&ライド駐車場の整備に向けて継続して協議。	

<地域公共交通計画の評価等結果の様式>

但馬地域公共交通計画の評価等結果（2023年度）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
たじまわりの利用者数 【2019年度】8,499人/年 【2026年度】9,000人/年 【2031年度】9,500人/年	基本施策7 広域的な公共交通ネットワークの充実 基本施策8 観光交通としての利便性向上	県所有データ	【達成状況】 ・11,380人/年《2023年度》 【分析】 ・コロナ禍の影響で減少していた利用者数が、順調に回復。ひょうご乗り放題バスや兵庫DCとの連携、JRや市町・観光協会等と連携した広報・企画により増加。	・2024年度は引き続き、JR、各市町、観光協会と連携し、利用者増加を図る。	・2020年度5,314人/年 ・2021年度4,685人/年 ・2022年度10,710人/年
各市町主要駅の乗降人数 【2019年】11,196人/日 【2026年】現状維持 【2031年】現状維持		国土数値情報	【達成状況】 ・8,566人/日《2021年度》		
路線バス・コミュニティバスの収支率 【2019年度】コミュニティバス：(豊岡市)18% (養父市)19% (朝来市)12% (香美町)12% (新温泉町)11% 路線バス：52% 【2026年度】コミュニティバス：(豊岡市)19% (養父市)20% (朝来市)13% (香美町)13% (新温泉町)12% 路線バス：55% 【2031年度】コミュニティバス：(豊岡市)20% (養父市)21% (朝来市)14% (香美町)14% (新温泉町)13% 路線バス：58%	基本施策9 公共交通を担う人材の確保 基本施策10 公共交通の利用促進	市町、交通事業者所有データ	【達成状況】 《2023年度》 ・コミュニティバス：(豊岡市)15% (養父市)15% (朝来市)11% (香美町)9% (新温泉町)7% ・路線バス：38% 【分析】 ・各市町のコミュニティバス、路線バスともは2022年度と大きな変化はない。	・2024年度は引き続き、公共交通利用者への助成事業や利用促進イベントの実施、セミナーやワークショップによる公共交通利用意識の醸成等を通して利用者数の増を図る。	
住民1人あたりの公共交通への公的資金投入額 【2019年度】4千円/人 【2026年度】現状維持 【2031年度】現状維持		市町、交通事業者所有データ	【達成状況】 ・5.57千円/人《2023年度》 【分析】 ・2022年度より運行経費の増加と人口減少により若干の増加。		
鉄道の区間別平均通過人員・乗車人員 【2019年度】 山陰本線（福知山～城崎温泉）3,268人/日 山陰本線（城崎温泉～浜坂）693人/日 山陰本線（浜坂～鳥取）921人/日 播但線（和田山～寺前）1,222人/日 宮津線（宮津～豊岡）2,265人/日 【2026年度】現状維持 【2031年度】現状維持	基本施策9 公共交通を担う人材の確保 基本施策10 公共交通の利用促進	「データで見るJR西日本」、WILLER TRAINS 提供資料	【達成状況】 《2022年度》 山陰本線（福知山～城崎温泉）2,805人/日 山陰本線（城崎温泉～浜坂）721人/日 山陰本線（浜坂～鳥取）768人/日 播但線（和田山～寺前）972人/日 《2023年度》 宮津線（宮津～豊岡）1905人/日 【分析】 ・前年度より回復傾向。	・2024年度は引き続き、公共交通利用者への助成事業や利用促進イベントの実施、セミナーやワークショップによる公共交通利用意識の醸成、また、兵庫DCアフターキャンペーン等を通して利用者数の増を図る。	
但馬地域一体で実施する公共交通を担う人材確保に向けた活動数 【2021年】- 【2026年】1回/年 【2031年】1回/年		但馬地域一体で実施する運転士確保を目的としたのPR活動数	【達成状況】 ・6回/年《2023年度》 【分析】 ・活動数は目標達成。		